２０１６年（平成２８年）７月１４日　木曜日

デーリー東北新聞　１４面　掲載

第98回全国高校野球選手権
青森大会
―第6日

16強に県南８校

第98回全国高校野球選手権青森大会第６日は13日、八戸市長根、六戸町メイプル、青森市営、弘前市はるか夢の４球場で３回戦の残り12試合を行い、16強が出そろった。

八学光星は青森に、八学野西は青森南に、三沢は八戸北にコールド勝ち。大湊は青森北に、工大二は七戸にそれぞれ競り勝ち、田名部は延長で木造を退けた。八戸商は弘前実に逆転負けを喫した。このほか弘前東、青森商、柏農、弘前工、青森山田が４回戦に勝ち進んだ。

第７日の14日は４球場で４回戦８試合を実施し、８強が決まる。（取材班）

試合速報

きょうの試合

▽4回戦

【八戸市長根】

大湊―青森山田（10・00）

三沢―工大一（12・30）

【六戸町メイプル】

青森商―柏農（10・00）

八学野西―八戸西（12・30）

【青森市営】

弘学聖愛―工大二（10・00）

田名部―弘前工（12・30）

【弘前市はるか夢】

東義―八学光星（10・00）

弘前東―弘前実（12・30）

光星 攻守に盤石

青森	0	0	0	0	1	0	0	1
八学光星	0	0	0	4	3	1	X	8

（7回コールド）

（青）横山、菅原、天内―佐藤

（八）戸田、和田―奥村

▽本塁打　山内（青）▽三塁打　川村（青）▽二塁打　花岡、奥村、戸田（八）▽試合時間　1時間48分

（球審＝小松、塁審＝成田喜、宇野、長浜）

【評】光星は四回1死二、三塁の好機に戸田の左中間二塁打で先制すると、徳田にも左前適時打が出るなどこの回4点を奪取。五回には伊藤と徳田の連打で3点を加え、突き放した。青森は打線がつながらず、五回に山内の本塁打で1点を返すにとどまった。

青森・山内侑（左越えに公式戦初の本塁打）「打ったのはインコースの直球。いい感触はなかったが、しっかり振り抜けたことが結果につながった」

【青　森】		打	安	点	振	球
⑨	川村	3	2	0	0	0
⑧	岩渕	2	0	0	1	0
④	野中	2	0	0	1	1
⑤	山本	3	0	0	2	0
③	清野	3	0	0	0	0
⑦	山内	3	1	1	0	0
①	横山	2	0	0	1	0
1	菅原	0	0	0	0	0
1	天内	1	0	0	1	0
②	佐藤	2	0	0	1	1
⑥	須藤	2	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残					
1	1	0	1	4	23	3	1	7	2

【八学光星】		打	安	点	振	球
④	伊藤	4	4	2	0	1
⑤	徳田	4	2	2	1	0
⑨	田城	3	2	1	0	1
③	益田	2	0	0	0	2
⑧	花岡	4	1	0	0	0
8	小日出	0	0	0	0	0
⑦	小渕	2	0	0	0	1
⑥	小林	3	2	0	0	1
②	奥村	2	1	0	0	1
①	戸田	2	1	2	0	0
H	太田	1	0	0	1	0
1	和田	1	1	1	0	0

犠	盗	失	併	残					
3	5	0	0	12	28	14	8	2	7

投手	回	打	安	振	球	失
横山	4⅔	30	12	2	5	7
菅原	1	6	1	0	2	1
天内	⅓	2	1	0	0	0
戸田	5	18	2	4	1	1
和田	2	8	1	3	1	0

【青森―八学光星】４回光星１死二、三塁、戸田将史が左中間に二塁打を放ち先制する＝はるか夢

先発戸田 バットでリズム

○…序盤に何度も好機を迎えながら、先制点を奪えなかった光星打線に活を入れたのは、９番打者で先発投手の戸田将史だった。

四回１死二、三塁で打席に立つと、高めの直球を思い切り振り抜いて左中間に２点適時二塁打を放ち待望の先制点を奪取。先発投手の思わぬ活躍に、仲井宗基監督は「今日はナイスピッチングよりも先にナイスバッティングかな」と冗談を交えながら戸田を褒めた。

〝本業〟でも、本塁打こそ浴びたが５回２安打１失点。戸田は「制球が定まっていて調子が良かった。自分で点を取ったことで投球も楽になった」と満足げだった。

デーリー東北新聞社提供